

# 学校評価報告書

学校名 深谷市立幡羅中学校  
校長名 大澤 誠 一 印

## 1 学校評価のねらい (学校としての受け止め)

P D C A サイクルに沿って、学校教育目標達成に向けて、適切な学校運営や教育活動等を推進する。そのためには、職員の自己評価並びにその他の多面的な評価が必要である。数種の評価を分析し、成果と課題を見だし、次年度につなげる。

## 2 評価の方法 (自己評価・学校関係者評価・第三者評価の別、回数、方法等)

- ・学校評価 (職員) 2 回
- ・学校評価 (生徒・保護者) 2 回
- ・学校関係者評価 (学校運営協議会委員による評価) 1 回

## 3 評価の結果

### (1) 主な指標の変化 ※第1回評価→第2回評価

<生徒評価>

「幡羅中が好きである」が 95.8% → 97.6% になった。

「誰に対してもいじめや差別をしていない」が 97.8% → 99.1% になった。

<保護者評価>

「保護者会や学校行事など、幡羅中は行きやすい場所になっている」が 92.1 % → 95.2 % になった。

「教職員は問題行動に対して、協力して、すぐに解決している」が 93.7 % → 95.2 % になった。

### (2) 学校教育目標の具現化に向けた指標

<職員評価>

「学校教育目標の具現化」が 90.0% → 86.0% になった。

<生徒評価>

「部活動では顧問の指導のもと、心を磨き、体を鍛える活動ができている」が 98.0% → 96.4% になった。

<保護者評価>

「学校教育目標や校長の学校経営方針について知っている」の項目が 82.5% → 88.7% になった。

### (3) 学校研究課題の具現化に向けた指標

<職員評価>

「学習指導の充実」が 100% → 91.0 % になった。

<生徒評価>

「授業は分かりやすく、意欲的に学習している」が 96.6% → 97.0% になった。

「家庭で宿題や自主学習に取り組んでいる」が 93.1% → 91.6% になった。

<保護者評価>

「幡羅中では、分かりやすく生徒の学力を高める授業が行われている」が 87.3 % → 91.9 % になった。

「子どもは、家庭で宿題や自主学習に取り組んでいる」が 77.8% → 79.0% になった。

## 4 次年度に向けての展望

全般的には、職員、生徒、保護者ともおおむね良好な評価結果であった。しかし、昨年度の課題であった「家庭学習の取り組み」においても、生徒評価が 91.6 % (H27) → 91.6 % (H28) に、保護者評価が 88.3 % (H27) → 79.0 % (H28) と伸びていない。

今後も、学力向上を目指し、授業改善と家庭学習の充実に向けた方策に重点的に取り組む。